

演 題：いっしょにスウィングしましょ。

～たとえ、ささやかな存在でも、心の振り子を揺さぶり動かしたい～

期日：令和6年10月22日（火）午前

会場：むつ工業高等学校体育館

期日：令和6年10月22日（火）午後

会場：大湊高等学校体育館

【講演の記録】

私は田名部で生まれ、田名部高校卒業までむつ市におりました。会社はスウィングといいます。皆さんもブランコに乗ってスウィングをしたことがあるのではないのでしょうか。空に向かって漕いだ時、すごくわくわくしたり、風が気持ちいいと思ったりしますね。そんな風に、心の中の振り子を揺り動かしたい、という思いを込めて名付けました。心を揺り動かすような、何かを感じたり感動したりするコトを創り出したいという気持ちで仕事をしています。

私の仕事は、例えばコンサートなどが終わるとステージ上のセットも照明も音響も片づけられ、まっさらになってしまう「モノが残らない」、「目に見えなくなってしまうもの」です。しかし、見ていただいた方々が、感動を心に持って帰ってもらいたいと思っています。むつ工の皆さんは、目に見える、残るものを作っているのだなあと考えております。

さて、私の高校時代の事を話させていただきます。実は、私は田名部高校に入りたくありませんでした。そのため、学校に行きたくありませんでした。それで私はあまり学校に行かず、部活にも入らず、修学旅行も、卒業式も行きませんでした。だから、あまり勉強をしたという感覚がないのです。自分で試験を受けて入ったのに、家族や周りが言ったからといって、周りのせいにしていました。本当に家族を困らせていた高校時代でした。それなのに、高校を卒業して大学に合格し、大学生になることができました。もし、今高校に進んで思い悩んでいる人がいたとしても、大丈夫です。その先にきっと別の世界があって、私のように、40年続けられる自分の会社を持つような、チャンスに出会うことがきっとあると思います。

自分がやりたいことに出会うきっかけは、好きなものを知る、ということなのではないかと思っています。皆さんは何が好きでこの学校に入ってきましたか？きっとみんな夢や目標をもって来たんだろうと思います。好きなものや、感動するもの、何回も見たいと思った「コト」、「モノ」を忘れないで心に持って欲しいと思います。私は何が好きだったかというと、演奏やコンサート劇が好きでした。好きと自覚したきっかけはイギリス留学でした。イギリス留学中に、たくさんのショーを見たり、ホームステイ先の家でパーティーがあったりしました。それはポテトチップスとコーラだけのようなものでしたが、たくさんの飾り付けをしたり、とても楽しくて感動的なものでした。その後もたくさんの刺激的なパーティーに触れ、当時の日本のありきたりなパーティーとは違った、新しい要素をとり入れたパーティーを仕事にしようと思い、1985年に会社を立ち上げることにしました。

これまで、大切な出会いがたくさんありました。その一人が日本マクドナルドの社長で、日本にマクドナルドを持ってきた藤田さんです。私はこの方に出会ってパーティーというものを教えていただき、今となっては師匠のような存在です。1万人規模のパーティーや1980年代に新入社員歓迎パーティーなどをやらせていただきました。

もうひとつの大切な出会いが、私の友達でした。その友人は、帝国ホテルで宴会やディナーショーを企画する担当でした。私はその友人にアメリカやイギリスで経験したパーティーのことを語り、友人はそれを一生懸命に聞いてくれました。そのような折、友人がたまたま帝国ホテルの100周年の担当になり、その友人の誘いで帝国ホテルの100周年のパーティーの企画制作を担当するチャンスをいただきました。3日間にわたる盛大なパーティーが開催され、成功をおさめたことで、現在も仕事をさせていただいております。

私は、このように、会場の雰囲気作りが大切という活動を80年代から90年のはじめにかけて提案してきました。ホテルでの結婚式もどこも同じようなものでしたが、テーマや雰囲気作りの提案をし、日本パーティーオーガナイズド協会というものを設立し、パーティーコーディネーターの資格認定をする協会を創り、パーティーの勉強をするという仕組みを作りました。

3つめの出会いは客船でした。たまたま1985年の5月の連休のときに、横浜の「氷川丸」に遊びに行きました。そのときに「氷川丸」の甲板で2人の男性に声をかけられたことがありました。何をやってい

るのか聞かれ、私は会社を作ったばかりでしたから、パーティーをやりたいことや、ホテルが好きなこと、音楽やオペラ、ミュージカルが好きなのだということを語りました。するとその半年後に、その方たちが日本郵船の客船準備室に移動になり、船の中でのパーティーの企画を一緒に考えて欲しいと連絡してきたのです。嬉しくて、何でもやるという気持ちでした。私は客船に乗った経験もなく、客船での仕事もゼロからのスタートでしたが、客船の仕事に携わってから40年近くになります。このような偶然の3つの大切な出会いがあり、それが私の宝物となっております。

また、1988年から2002年まで、地元下北文化会館の主なコンサートの企画をさせていただきました。さらに、六ヶ所村スワニーでのコンサートの企画など、毎年やらせていただいております。

加山雄三さんに、日本一の豪華客船「飛鳥」の名誉船長になって頂いたり、「にっぽん丸」では、船上のオペラを企画プロデュースし、人気のクルーズになるなど、仕事をさせて頂く中で、「にっぽん丸」を大湊港へ初寄港させる計画があることを知り、当時市長になったばかりの宮下市長にコンタクトを取り、一緒にむつ市のプレゼンテーションをしたり、その実現のための動きをさせていただきました。2015年「にっぽん丸」が大湊港初寄港、感動的でした！！その後、「にっぽん丸」は4回寄港し、そしてやはり日本一の「飛鳥Ⅱ」を大湊へ！のプロジェクトが始まり、ついに2019年に実現！！大漁旗を掲げた漁船が「飛鳥Ⅱ」の周りを囲んで、歓迎やお見送りする光景は、私の心が動いた瞬間でした。長年やってきたことが、ふるさとむつ市のお役に立てた出来事でした。

私は最初に言ったように、高校時代はむつ市を早く出たいという思いがとてもあったのですが、今は、むつが好きです。良いところがいっぱいある、なんていい場所なのだろうと思うし、これからも自分がやってきたことで、また下北のお役に立てればいいなと心から思っています。

むつ市の皆さんも辛い経験をしたと思いますが、2020年にコロナのニュースが沢山報じられるようになりましたね。そして、私が愛する客船の中でコロナの患者が出たということで、お客様が降りられなかったというニュースがありました。さらに2020年の2月に3月に予定されていたクルーズが中止になりますという連絡がきました。それはコロナが原因でした。すべてが初めてのことでした。人と接触することを制限していて、これが中止になったら誰が責任をとればよいのか分からない状態でした。それから1、2週間後に2020年4月から行く予定だった世界一周クルーズが中止となってしまいました。スウィングにとってはとても大きなビジネスで、それが中止になると私は生きていけないと思いました。それからすべての仕事中止になり、その時点で決まっていた仕事が約40本なくなりました。その翌年から助成金が政府からもらえることになり、その書類を書く日々で、仕事がなくて本当に大変な時期でした。2020年に予定していた仕事が翌年に延期となりましたが、更にまたなくなっただけです。2022年から徐々にイベント業界が動き出しました。

そして2023年、日本橋三越の創業350周年の記念のイベントや、パーティーをやらせていただきました。また、大地真央さんの舞台で客船の中という設定があったのですが、脚本家の方が実際に船に乗って脚本を書きたいということで、「にっぽん丸」に乗っていただいて船の中でどんなことが行われているか説明し、お手伝いをさせていただいたりする仕事をしました。皆さんに、このような仕事もあるのだと知っていただけたらうれしいです。

今まで自分の使命とも言える客船での仕事をし続けてこられたのは、思ってもいなかった沢山の恵まれた出会いがあったからです。人生、すべては出会いなのではないかと思えます。その出会いを自分でどうキャッチして、コミュニケーションをとって、自分で良いものにしてくのか、ということが大事だと思います。私は仕事をしてきて、なにか自分のなかでアンテナをはったり、好きなことに気がついたりした時に何らかの化学反応が起こったり、将来につながったりすることは確実であると感じてきました。皆さんも、自分が好きだと思うことを大切に、出会った人と好きなことの話ができれば、化学反応が起こったり、将来につながっていきたりすることができるのではないかと思います。

さて、1989年、日本の第一のクルーズ元年と言われ、そこから35年経った今年は、第二のクルーズ元年といわれています。1989年のときには10隻以上の客船が日本にはありました、それが無くなっていき、現在「飛鳥Ⅱ」と「にっぽん丸」になってしまいましたが、今年の12月1日に商船三井クルーズが「MITSUI OCEAN FUJI」を就航します。そして、「飛鳥Ⅲ」が、2025年夏に就航予定ですし、2028年にはディズニークルーズが日本で就航するということがニュースになっています。また、日本発着の外国船もぞくぞくと増えています。

これからもっともっとクルーズが盛んになっていくと思われる第二のクルーズ元年までも仕事で関わられることを、とても幸せに思うし、これからも色々なことをやっていきたいな、とわくわくしています。

皆さん！最後に、若い感性を大事にしましょう！自分を見つめて感じて欲しい。何度も言いますが、出

会いを大切にしてください。そして、私自身ずっと思っていることですが、人を思う愛と、話してみよう、行動してみよう、という勇気と、周りに感謝をすることを忘れずに、一緒にスウィングしましょう！
ご清聴ありがとうございました。